

タイムラインの改善

令和 6年 2月 27日

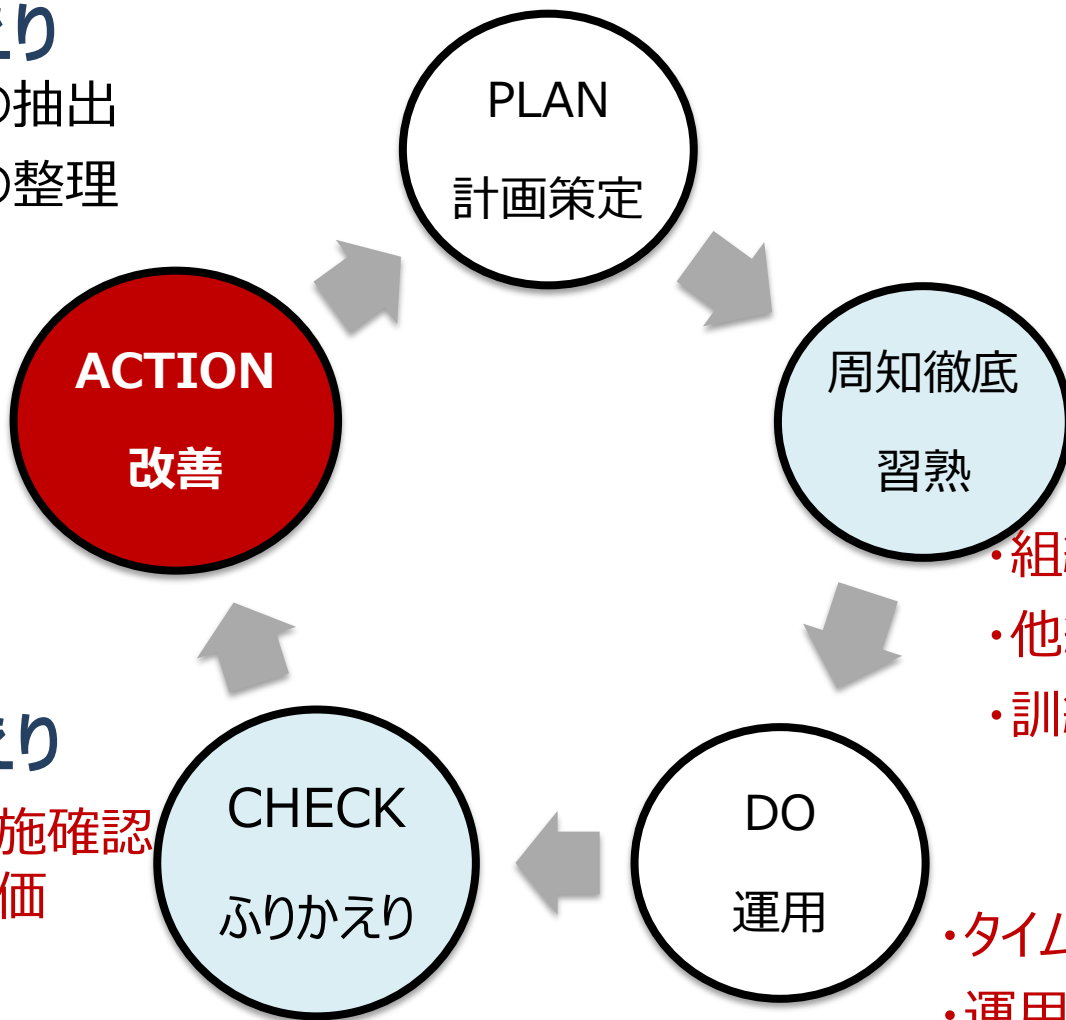
太田川水防災タイムライン検討会

1. 話し合いに先立って

タイムラインのサイクルと課題

本日 ふりかえり

- ① 改善事項の抽出
- ② 改善事項の整理



前々回検討会 読み合わせ

- ・組織内での周知徹底
- ・他組織・住民への浸透
- ・訓練と習熟

前回 ふりかえり

- ・対応行動の実施確認
- ・対応行動の評価
- ・要因分析
- ・改善策の検討

- ・タイムラインの発動
- ・運用
- ・ステージ移行

【話し合い】

改善事項の抽出と整理

改善事項の抽出（グループワーク）

WORK 1

40分

次に頁に示す「今後に向けての要望」について、
具体的な**改善事項**を書き出してください。

まずは、ひとりで付せんに改善事項を書き出し
てください。

その後、書き出した改善事項を述べ合いながら、
ひとつの要望に対して3つ以内の改
善事項をまとめてください。



各グループで分担して改善事項を抽出します

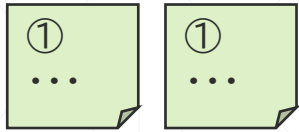
担当グループ	カテゴリ分け	今後に向けての要望
A	1. 情報の共有と関係機関の連携	①様々な情報の円滑な共有（各機関の活動や被害状況等） ②平時からの関係機関のつながり強化
	2. タイムラインステージ通知	③ステージ移行通知の手段を簡素化（システムの有効活用）
B	3. タイムラインの改良・有効活用	④各機関のマニュアルとタイムラインの整合 ⑤タイムラインの改善と習熟 ⑥流域を対象としたタイムラインの検討（マルチハザード） ⑦タイムラインステージが移行した際のルール化 ⑧タイムラインの行動内容、情報提供のタイミング・内容の精査
C	4. 迅速な対応に向けた備え	⑨排水ポンプ車の出動要請に向けた日頃からの備え（訓練） ⑩人員不足の解消 ⑪タイムラインに基づく、災害を想定した訓練の実施 ⑫リエゾンの派遣タイミングや活用方法の理解（訓練）
D	5. 住民の避難	⑬避難率を高めるための取組推進 ⑭地域住民への適切な周知
E	6. タイムライン支援システムの拡充	⑮タイムラインシステムの改良（組織ごとの必要なCCTV、水位を一覧で表示、中小河川の情報表示等） ⑯タイムラインシステムの改良（画面サイズの変更） ⑰タイムラインシステムの改良（情報交換機能）
	7. 監視機器の準備	⑱カメラなどのソフト対策の補助金支援の紹介

例：Aグループは①～③の「今後に向けての要望」に対して改善事項を考えます。

グループワークの方法

Aグループ の例

①様々な情報の円滑な共有
(各機関の活動や被害状況等)

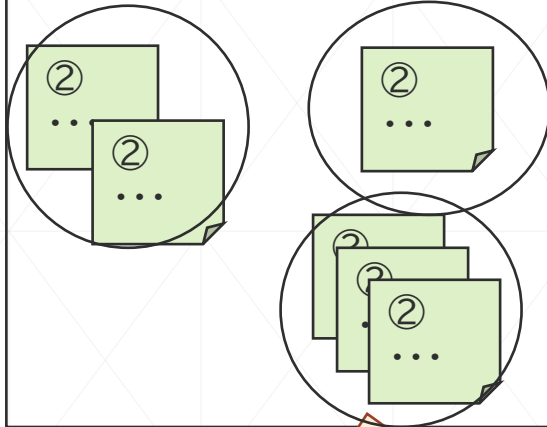


要望をどうやって実現するか、
**目標ではなく具体的な
改善事項**を考える。

ex)

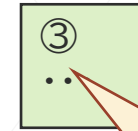
- 被害状況を〇〇で共有する。
- タイムラインの防災行動項目に〇〇を追加する

②平時からの関係機関のつながり強化



ひとつの「要望」に対して
改善事項を3つ以内に
まとめてください。

③ステージ移行通知の手段を簡素化
(システムの有効活用)



「今後に向けての要望」の
番号を記入してください。
(Work2で、付箋を別の
ワークシートに移動し
整理するため)

改善事項の整理（グループワーク）

WORK 2

30分

グループで話し合った改善事項を
4つに分類してください。

	各機関として進めること	検討会として進めること
ですぐに 進めること	  各機関で すぐに実行できる 改善事項	 検討会として、 すぐに実行できる 改善事項
かかる時間 がかかること	各機関で進めるが 時間がかかる 改善事項 	検討会として進めるが、 時間がかかる 改善事項 

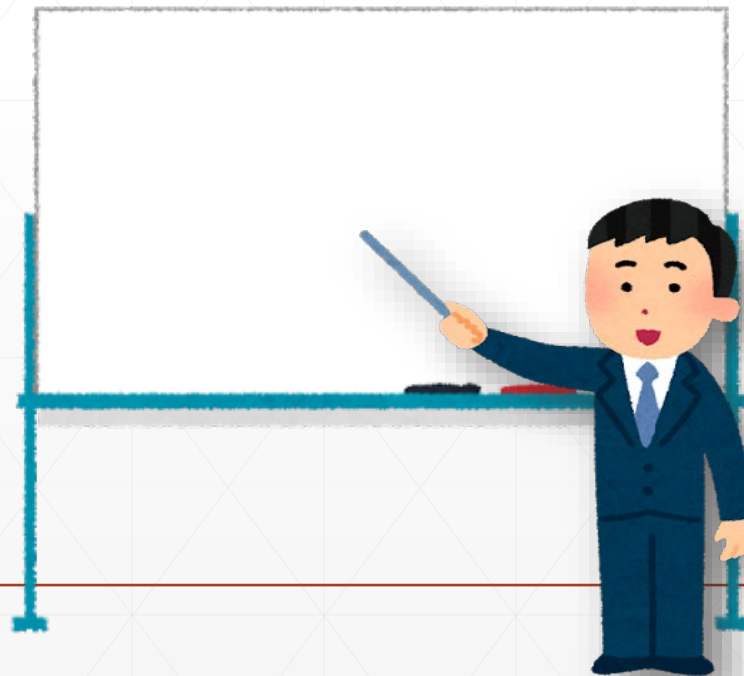
改善事項の抽出・整理結果の共有（発表）

WORK 3

15分

グループワークで話し合われた内容から

検討会としてすぐ実行できる改善事項を中心に
整理結果を発表してください。



1グループあたり3分